

## 公立豊岡病院組合改革プランの改訂について

### 1. 改訂の概要

計画策定から5年が経過していた前改革プランについては、策定時との状況の変化に対応するため、次の内容を踏まえて平成27年3月に改訂を行った。

#### (1) 計画期間

前改革プランの計画期間である平成21～29年度のうち、平成27～29年度を計画の対象期間とする。

#### (2) 改訂内容

##### (ア) 新たな病院整備の追加

- ①周産期医療センター整備      ②（仮称）朝来医療センター整備
- ③緩和ケア病棟整備              ※①～③を踏まえた病床数等の見直し

##### (イ) 制度の改正への対応

- ①地方公営企業会計制度の改正      ②消費税の増税      ③分賦金条例の改正

##### (ウ) 収入向上対策・費用削減対策の見直し

- ①新たな施設基準等の取得      ②新たな費用削減の取り組み      など

##### (エ) 現行改革プラン策定後に開始した事業の反映

- ①ドクターヘリ事業      ②ドクターカー事業

##### (オ) 収支計画の修正

### 2. 今後の対応

前改革プランにもとづく評価は、平成26年度決算までとし、平成27年度決算からは改革プラン改訂版にもとづく評価とする。

また、平成27年3月に総務省から新たに示された「新公立病院改革ガイドライン」の内容を踏まえ、平成28年度に再度、公立豊岡病院改革プランの改訂を行う。

#### 《新公立病院改革ガイドラインの概要》

- (ア) 策定期間              平成27年度又は平成28年度
- (イ) プランの期間        策定年度～平成32年度を標準
- (ウ) プランの内容
  - ①地域医療構想を踏まえた役割の明確化      ※新設
  - ②経営の効率化
  - ③再編・ネットワーク化
  - ④経営形態の見直し

# 公立豊岡病院組合改革プラン改訂版 収支計画（概要）

## 1. 建設改良事業計画

[単位:百万円]

	H27	H28	H29
施設整備	5,217		
緩和ケア病棟整備	210		
朝来新病院整備	4,854		
その他施設整備	153		
器械整備	1,690	870	739
緩和ケア病棟器械整備	24		
朝来新病院器械整備	950		
その他器械整備	716	870	739
合計	6,907	870	739

[総額] 8,516百万円
------------------

## 2. 収支計画（収益的収支）

[単位:百万円]

※参考

		H26	H27	H28	H29	H29-H26	主な増減理由	H30	H31
収入	医業収益	16,229	16,822	17,014	17,160	931	-	17,263	17,310
	入院収益	10,296	10,779	11,100	11,191	895	7対1 +276、緩和ケア+223、施設基準+91、リハ充実+57、	11,271	11,298
	外来収益	5,103	5,227	5,053	5,108	5	硝子体注射+83、外科(乳腺)+33 朝来院外処方等△121	5,131	5,150
	その他	830	816	861	861	31	朝来室料差額収益+27	861	862
	医業外収益	2,660	2,767	2,805	2,629	△31	-	2,728	2,771
	補助金・負担金	1,696	1,732	1,710	1,595	△101	不採算△140	1,581	1,571
	その他	964	1,035	1,095	1,034	70	長前収益+49	1,147	1,200
経常収益①		18,889	19,589	19,819	19,789	900	-	19,991	20,081
費用	医業費用	18,075	18,643	18,823	18,784	709	-	19,061	19,142
	職員給与費	8,749	9,119	9,255	9,259	510	医師・看護師増+237、 退職給付増+177	9,538	9,579
	材料費	4,057	4,121	3,947	3,959	△98	SPD変更△55、朝来院外処方△178	3,975	3,987
	経費	3,729	3,855	3,783	3,789	60	光熱水費増+84	3,803	3,808
	減価償却費	1,358	1,416	1,682	1,620	262	周産期、朝来整備等による増	1,591	1,616
	その他	182	132	156	157	△25		154	152
	医業外費用	1,632	1,489	1,329	1,193	△439	-	1,096	890
	支払利息	327	321	353	333	6		318	300
	その他	1,305	1,168	976	860	△445	繰延償却△548	778	590
	経常費用②	19,707	20,132	20,152	19,977	270	-	20,157	20,032
経常損益①-② (A)		△818	△543	△333	△188	630	会計制度の見直しにより退職給付費 と繰延勘定償却を合わせて計上する ため赤字が継続する。 ⇒平成31年度から経常収支黒字化へ	△166	49
特別損益(B)		△646				646	会計制度移行対応の減		
純損益(A)+(B)		△1,464	△543	△333	△188	1,276	-	△166	49
(再掲)繰延勘定償却費		838	587	405	290	△548			
経常損益※繰延償却費除く		20	44	72	102	82			

⇒ 繰延勘定償却を除けば実質的に黒字収支

## 3. 収支計画（資本的収支）

[単位:百万円]

		H27	H28	H29
収入	企業債	5,090	865	734
	出資金・負担金	1,894	139	141
	固定資産売却代金		428	
	その他	72	30	30
	収入計(A)	7,056	1,462	905
支出	建設改良費	6,907	870	739
	償還金	1,558	2,079	1,559
	その他	121	110	110
	支出計(B)	8,586	3,059	2,408
差引(A)-(B)		△1,530	△1,597	△1,503

## 4. 内部留保資金

[単位:百万円]

	H27	H28	H29
前年度末内部留保資金	1,216	1,290	1,584
内部留保資金増減額	74	294	175
収入不足額	△2,073	△1,930	△1,691
補てん財源	2,147	2,224	1,866
年度末内部留保資金	1,290	1,584	1,759